三重 吃音（きつおん） 臨床研修会 2021

開催日程

06月13日（日）　吃音のある子どもを指導するための基礎知識（1）
07月18日（日）　吃音のある子どもを指導するための基礎知識（2）
08月08日（日）　幼児期：DCモデルに基づく指導
09月12日（日）　幼児期：リッカムプログラムに基づく指導
11月14日（日）　学童期：吃音緩和法に基づく指導
12月12日（日）　学童期：認知行動療法に基づく指導

＊いずれも、9:30-11:00 講義、11:00-11:30 質疑応答。
＊一部の日程のみの参加も可能です。

講師　言語聴覚士　横井秀明 先生（なるみ吃音相談室）

会場　オンライン（Zoomを使用します）

定員　30名

対象　三重県にお住まいかご勤務の言語聴覚士、学校の先生、臨床心理士など

参加費　無料

＊本事業は赤い羽根共同募金からの助成を受けて実施しているため、今回は無料での開催となりました。

＊開催日程やプログラムは変更となる場合があります。

赤い羽根共同募金

主催　三重言友会
後援　三重県、三重県教育委員会、四日市市、四日市市教育委員会、三重県言語聴覚士会
三重県理学療法士会、三重県臨床心理士会、全国言友会連絡協議会
中日新聞社・中日新聞社会事業団

三重
吃音臨床研修会
2021

趣旨

吃音は、有症率が1%（100人に1人）と言われています。また、幼児期の発症率に至っては、近年では10%前後とも報告されているため、誰もが身近に接する可能性があると言えるでしょう。

それにも関わらず、医療・教育・福祉のいずれの領域においても、吃音に対する相談体制は十分に確立されていないため、不安な中で過ごしているお子さんや、保護者が少なくありません。

そのため、今回の研修会を通じて、吃音のある子どもを指導するために多くの方々が共有すべき「勘所」（かんどころ）をお伝えしたいと考えています。吃音のある子ども達の健やかな成長を守るために、是非ご参加ください。

講師

言語聴覚士 横井秀明 先生
（なるみ吃音相談室）

関西学院大学大学院法学研究科博士前期課程修了。政府系金融機関勤務後、日本福祉大学中央福祉専門学校言語聴覚士科卒業。リハビリ専門病院、訪問看護ステーション勤務を経て、なるみ吃音相談室を開設。日本吃音・流暢性障害学会前監事。名古屋医専非常勤講師。第52回「NHK障害福祉賞」最優秀賞。

吃音（きつおん）とは

吃音とは、「スムーズに話せないこと」です。しかし、吃音によって引き起こされる問題は「スムーズに話せないこと」そのものだけではなく、**吃ることを恐れるあまり、話すことに消極的になってしまい、場合によっては深刻な社会不適応に発展していく**ことこそが、困難の本質だと考えられています。そのため、**早期からのフォローが必要**だとされています。

言友会は、吃音のある人のセルフヘルプグループ（自助団体・当事者団体）として、1966年に発足しました。個々の吃音体験を分かち合う「例会」を中心として、会報の発行や吃音に対する理解を深めるためのイベント開催などの取り組みを通して、会員それぞれが**「吃音があっても豊かに生きる」**ための方法を見つけるべく、現在では全国30カ所以上で活動しています。

三重言友会は、三重県で活動している言友会で、1987年に発足しました。月1回の例会では、吃音体験の共有とともに、吃音のある人が苦手とすることが多い朗読や電話、面接の練習のほか、吃音についての学習などに取り組んでいます。

三重言友会

参加方法

下記「お問い合わせ先」のメールアドレス宛てに、①参加希望日、②住所、③氏名、④連絡先電話番号、⑤所属先（勤務先、職業など）をご明記の上、お申し込みください。

お願い

・講義の録音、録画及びスライドのスクリーンショットはご遠慮ください。なお、資料のみの配布には対応致しかねます。

お問い合わせ先

m.tanaka0213@gmail.com

（三重言友会 田中）